

## 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所)

### 1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ライフサポート樂樂
所 在 地	千葉県旭市□1004-17
評価実施期間	平成 29年 4月 19日～平成 29年 10月 31日

### 2 受審事業者情報

#### (1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	サンライズベビーホーム サンライズベビーホーム		
所 在 地	〒289-2516 千葉県旭市□245-3		
交通手段	主に車で送迎		
電 話	0479-64-1515	FAX	0479-64-1516
ホームページ	サンライズベビーホームで検索		
経 営 法 人	社会福祉法人 愛育会 サンライズベビーホーム		
開設年月日	平成元年4月1日		
併設しているサービス	地域子育て支援センター		

#### (2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	22	22	36						
敷地面積	159 m <sup>2</sup>			保育面積		336 m <sup>2</sup>			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理									
食 事	自園で調理 ・ 普通食 ・ 離乳食(段階に分ける)								
利用時間	AM:7:00 ~ PM:7:00								
休 日									
地域との交流	毎月1回ピアノや弦楽コンサート								
保護者会活動	運動会 ・ 遊戯会								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	28	3	31	
専門職員数	保育士	看護師	栄養士	
	24		1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		2	4	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	各市の子育て支援課に直接申し込んで下さい。	
申請窓口開設時間	月 ～ 土 8:00 ～ 5:00	
申請時注意事項	毎年年度後半は定員一杯になるので予約が必要です。	
サービス決定までの時間	1週間	
入所相談	来園 ・ 電話	
利用代金	各市より保育料請求される。市が決定。	
食事代金	保育料に含まれる。	
苦情対応	窓口設置	園長 ・ 主任保育士
	第三者委員の設置	役員（法人の）2名

### 3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

サービス方針 (理念・基本方針)	・子どもが生涯にわたる人間形成の、最も大切な時期を長時間過ごす保育園であるので、子どもが生きてゆく力や、望ましい未来を自ら作り出す力の基礎を養う。
特 徴	・食べる事に重点を置き、質の良い給食を実施。 ・音楽コンサート月一回実施。
利用（希望）者 へのPR	・0歳、1歳、2歳の未満児それぞれの成長過程を大切にする。 ・離乳児何段階に分けて充実。 ・音楽の専門家がいるので、情緒面の発達に力を入れている。

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
長期・短期目標を立て、保育課程の共通理解をしている。
毎月全員参加の会議を行い、長期・短期目標を立て、月一回の見直しと評価を行い、家族との連絡も毎日連絡帳にて行っていることは安心感もあり、今後も引き続き行っていただきたい。
障害児への対応
障害児の研修を受けたり、その子・家族に合った対応を日々考え計画をし、評価を繰り返し行っている。今後も取り組んでください。
プロによる演奏会の実践
日々の音楽は小さい時から、良い音を聞くという感性を大事にしたいという思いから、CDは使用しなく園長のピアノで対応し、また定期的にプロによる演奏会を行っている。感性を高めるためにも、今後も取り組みの継続を期待します。
働きやすい職場の取り組み
研修参加や休暇も取りやすくなるように臨時職員の増員なども取り組んでいる。
さらに取り組みが望まれるところ
プライバシー保護
プライバシー保護は職員の中にもばらつきが出てしまうので、規定を設けることにより職員が同じ水準に達する努力をしていただきたい。
職員の計画的な人材育成方針
研修はおこなっているが、計画的なものとはなっていないので、人材育成の方針を立て、それに合う個別の研修目標や、資格や能力も加味し、年度末には評価ができるように、職員参加の基に策定していただきたい。
利用家族の満足の向上にむけた取り組み
家族アンケートなど、年に一度の満足度調査を行い、満足度を高めたり、改善計画にも反映できるように取り組んでいただきたい。

<p>(評価を受けて、受審事業者の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から評価は良かったが、2,3点指摘事項があったので、現在改善に取り組んでいます。</li> <li>・一部職員からの処遇に関する不満が示されたので、給与規定等見直す良い機会となった。</li> </ul>
---

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				■実施数	□未実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の確立 理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化されている。	3	0
			2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	2	1
			3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	2	1
	2 計画の策定	事業計画と重要課題の明確化 計画の適正な策定	4 事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	2	2
			5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	2	1
	3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	5	0
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	7 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	1	2
			8 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	1	3
		職員の就業への配慮	9 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	5	0
		職員の質の向上への体制整備	10 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	11 施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	4	0
			12 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	0	4
		利用者満足の上昇	13 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	2	2
		利用者意見の表明	14 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0
	2 保育の質の確保	保育の質の向上への取り組み 提供する保育の標準化	15 保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上に努めている。	0	3
			16 提供する保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0
	3 保育の開始・継続	保育の適切な開始	17 保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
			18 保育の開始に当たり、保育方針や保育内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
	4 子どもの発達支援	保育の計画及び評価 子どもの健康支援 食育の推進	19 保育所の理念や保育方針・目標に基づき保育課程が適切に編成されている。	3	0
			20 保育課程に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
			21 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	5	0
			22 身近な自然や地域社会と関わるような取り組みがなされている。	4	0
			23 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	5	0
			24 特別な配慮を必要とする子どもの保育が適切に行われている。	6	0
25 長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。			3	0	
26 家庭及び関係機関との連携が十分図られている。			1	2	
5 安全管理	環境と衛生 事故対策 災害対策	27 子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
		28 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	3	0	
		29 食育の推進に努めている。	5	0	
30 環境及び衛生管理は適切に行われている。	30	3	0		
	31 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0		
32 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	32	5	0		
	33 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0		
計				107	22

## 項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

	評価項目	標準項目
1	理念や基本方針が明文化されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 理念・方針が文書(事業計画等の法人・事業所内文書や広報誌、パンフレット等)に明記されている。</li> <li>■ 理念・方針から、法人が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</li> <li>■ 理念・方針には、法の趣旨や人権擁護、自立支援の精神が盛り込まれている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>入園のしおりには、理念に変わるものとして保育方針が記載され、保育の使命や目指す方向性を読み取れる内容になっている。基本方針は園の特徴として、毎日の連絡帳を通して保護者との対話を大切にする。食事は個々の成長に合わせてゆっくりと進めている。園の行事は保護者の負担にならないようすることが示されている。</p>		
2	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。</li> <li>■ 理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。</li> <li>■ 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>理念や基本方針の周知については、園の保育指針作成時に伝え、毎月の会議を行う中で話し合い、日常の保育実践に生かせるように努力を行っているので、あえて事業所内には理念や方針は掲示しない考えである。</p>		
3	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約時等に理念・方針が理解し易い資料を作成し、分かり易い説明をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。</li> <li>■ 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>入園時にパンフレットを配布し、保育方針・園の特徴の中で説明している。送迎時の対話の中で、理念・基本方針に基づく、日々の保育内容等に関連付けてお話をしている。</p>		
4	事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 理念・基本方針より重要課題が明確にされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。</li> <li>■ 現状の反省から重要課題が明確にされている</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>事業計画には定員数130%受諾・保育標準時間や保育短時間の導入による、職員増員などが計画されている。障害児への新しい取り組みなども行い、実施の評価や課題も明確にしている。事業計画立案時には地域の事業環境などの分析や将来の課題を含めた検討をされたい。</p>		
5	施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員と幹部職員が話し合う仕組みがある。</li> <li><input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。</li> <li>■ 方針や計画、課題の決定過程が、一部の職員だけでなく、全ての職員に周知されている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>主任、副主任と話し合う仕組みはあるが、定められた時期、手順、実施状況の把握、評価など、職員を巻き込んだ手順は定められていない。</p>		
6	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。</li> <li>■ 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生れ易い職場づくりをしている。</li> <li>■ 研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。</li> <li>■ 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。</li> <li>■ 評価が公平に出来るように工夫をしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>新人職員や保護者にも、困っている事はあるか聞いておりアドバイスもされている。保護者が変われば子どもも変わるという信念を持ち対応している。常に改善出来る体制である。</p>		
7	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 法の基本理念など踏まえて、保育所の倫理規程があり、職員に配布されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 従業者を対象とした、倫理及び法令遵守に関する研修を実施し、周知を図っている。</li> <li>■ プライバシー保護の考え方を職員に周知を図っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>倫理規定はないが、プライバシーについて常に守秘義務があることを確認し合っている。入園のしおり、児童憲章を膨らませ当園職員の倫理規定をつくられることを期待します。</p>		

8	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input type="checkbox"/> 人材育成方針が明文化されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務権限規定等を作成し、従業者の役割と権限を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
(評価コメント) 前年度、職員と共に職員の役割等、客観的な基準に基づいて、個々の事情にも配慮しながら文章化が出来た。今後は、この基準に基づいた「期待する職員像」を明文化し、人材育成方針やキャリアに応じた研修体制・評価基準を職員と共に再考されることを期待します。		
9	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得を励行している。
(評価コメント) 休みや夏休みの希望は取れている。有給休暇の消化率や時間外労働のデータも把握している。時間外の対処は時間休で取るのではなく手当を出している。福利厚生に積極的に取り組んでいる。		
10	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) ニーズに基づき障害児の研修に力を入れているが、教育・研修の基本方針や中長期の展望を持った人材育成・個別の育成計画を組み立てていただきたい。		
11	施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> 法の基本方針や児童権利宣言など研修をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視など行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント) 子どもの権利は、保育指針に明記され周知されている。保育現場を拝見し年齢に応じた係わりをされていました。各部屋には複数の職員を配置し、全体に目が行き届いていました。		
12	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報には細心の注意を払っているが、個人情報の方針は作成されていない。保護者や実習生にも明示できるように、作成し、ホームページやパンフレットに明示し、周知徹底を図りたい。		
13	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 利用者満足を把握し改善する仕組みがある。 <input type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情が言いやすい雰囲気を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 利用者満足度は取られていないが、送迎時には保護者と積極的にお話することで、評価は得ている。家族との相談日も設けている。更なる質の向上のためにも定期的に開かれた利用者の声が反映できる仕組みを検討して頂きたい。		
14	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 第三者委員の名前も玄関に掲げている。マニュアルもあるが、その都度考える習慣が大切という考えで、毎日、今日あったこと、送迎時の気になる保護者のお話など園長と主任で情報交換している。		

15	保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上を図っている。	<input type="checkbox"/> 保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input type="checkbox"/> 保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。
(評価コメント) 職員間の意見は重要で、何でも言い合える習慣を大切にしている。自己評価の項目も含め専門職の評価になれるよう業界の用紙を使用する等、今後の取り組みに活かしていただきたい。		
16	提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 大きな一日の流れは決めてあるが、マニュアルはある意味形骸化する危険があるので作成していない。マニュアルは保育内容の見直しにもなるものなので、各クラスの一日の流れの留意事項の内容を記載する等、標準的なマニュアルとして検討されたい。		
17	保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 「入園のしおり」を持ちいて、見学もふくめ、いつでも対応している。		
18	保育の開始に当たり、保育方針や保育内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の開始にあたり、理念に基づく保育方針や保育内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かり易いように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 入所説明会で「入園のしおり」に基づき、細部にわたる説明を行い、保護者の意向を確認している。		
19	保育所の理念や保育方針・目標に基づき保育課程が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、保育理念、保育方針、保育目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 子どもの背景はとても大切であり、温かく理解するよう共通な思いを持つて保育方針や保育目標を立て、発達過程にも考慮されている。		
20	保育課程に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3歳児未満、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具 <sup>体的</sup> なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 子どもの背景はとても大切であり、温かく理解するよう共通な思いを持つて保育方針や保育目標を立て、発達過程にも考慮されている。		
21	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育者は、子どもが自発性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 子どもが発達する遊びの場の整備は資金がある限り行うという考え方で、改修なども取り組まれている。各クラスの間取りも広く、清潔が保たれています。一場面しか見ておりませんが、遊びの時間に、一度に玩具を広げるのではなく、時には、好きな玩具を一人で取れるなど、自発性を育む工夫も必要と感じました。		



22	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、保育に活用している。</li> <li>■散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。</li> <li>■地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。</li> <li>■季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常保育の中に取り入れている。</li> </ul>
(評価コメント) 自然と触れ合うことの大切さを教えるチャンスを逃さないようにしている。ワンワンコースや近隣高校畜産部のコースは子ども達の人気のコースとなっている。		
23	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。</li> <li>■けんかやトラブルが発生した場合、危険のないように注意しながら、子供達同士で解決するように援助している。</li> <li>■順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。</li> <li>■子どもが役割を果せるような取組みが行われている。</li> <li>■異年齢の子どもとの交流が行われている。</li> </ul>
(評価コメント) 子どもの遊びと人間関係の大切さを重視し、トラブル発生時は見守り、適度な間を見ながら声掛けし、「ごめんなさい」が言えるようにしている。順番を守ったり、出来る範囲の役割なども果たせるように取組んでいる。		
24	特別な配慮を必要とする子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども同士の関わりに対して配慮している。</li> <li>■個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。</li> <li>■個別の指導計画に基づき、保育所全体で、定期的に話し合う機会を設けている。</li> <li>■障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。</li> <li>■必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。</li> <li>■保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。</li> </ul>
(評価コメント) 観察を十分に行い、早い時期に兆候を把握できるようにしている。医療機関や専門機関との連携も取れており、必要時は個室で保育にあたり、保護者の支援も行っている。		
25	長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引き継ぎは書面で行われ、必要に応じて保護者に説明されている。</li> <li>■担当職員の研修が行われている。</li> <li>■子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。</li> </ul>
(評価コメント) お迎えが遅れる時は連絡が入るので一つのお部屋で二人体制で19時まで行っている。保護者からは感謝されている。		
26	家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	<p>□一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、保育参観、保育参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。</li> </ul> <p>□就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るとともに、子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、保育所児童保育要録などが保育所から小学校へ送付している。</p>
(評価コメント) 毎日連絡帳で詳細に情報交換しているので、保育参観は子ども達の落ち着いた生活を確保するために行っていない。懇談会も日々の連絡帳や情報交換で十分にできているので行っていない。また当園は3歳までの保育の為に就学に向けての取り組みはない。		
27	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等の把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。</li> <li>■保護者からの情報とともに、登所時及び保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。</li> <li>■子どもの心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。</li> </ul>
(評価コメント) 未満児保育園であるので、子どもの健康、発達には細心の注意を払っている。当園時には、必ず全身観察をおこない危険な状態も未然に防いだことも多々あり、記録もされている。		

28	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。</li> <li>■感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。</li> <li>■子どもの疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>感染症については、部屋の清掃、床の消毒を念入りに行っている。体調不良や傷害発生時の連絡方法・アレルギー食の把握・熱性けいれんの薬の使用基準も電話の傍に記載されている。</p>		
29	食育の推進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食育の計画を作成し、保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。</li> <li>■子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。</li> <li>■体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。</li> <li>■食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。</li> <li>■残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>食が一番大切なものであるため、充実を図っており質の良いものにお金をかけている。献立にはカロリー計算をし、食事を大切なものと理解し楽しくおいしい物を出すように努力をしている。施設内での調理をすることにより温かい物は温かく出す努力をしている。アレルギーの子の対策は家族と密な連絡を取り、別調理はもちろんのこと誤食防止の工夫、食べ終わりにはクラス全員の手洗い・床</p>		
30	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。</li> <li>■子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。</li> <li>■室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>建物は古いがきちんと掃除をし環境を整える工夫はしているが、個人タオルが2日間同じ物を使用しているため、タオルは毎日交換するようにし、より清潔を保てるように努めてほしい。</p>		
31	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。</li> <li>■事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。</li> <li>■設備や遊具等保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。</li> <li>■危険箇所点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>良く分析して次に生かす体勢はできている。警備会社と契約し不審者対策がきちんと行われ、マニュアルも作成されている。</p>		
32	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。</li> <li>■定期的に避難訓練を実施している。</li> <li>■避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。</li> <li>■立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。</li> <li>■利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>災害マニュアルは整備されている。立地条件から災害を把握する努力をし、消火器は月1回の点検を行い消防署参加の避難訓練を行っている。自家発電があり災害に対して高い水準である。</p>		
33	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の子育てニーズを把握している。</li> <li>■子育て家庭への保育所機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。</li> <li>■子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。</li> <li>■地域の子育て支援に関する情報を提供している。</li> <li>■子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>子育て支援センターとして認定されており、定期的に音楽会を開催するなど交流を広げる努力をしている。地域ニーズは大切であるが、子供の成長の妨げになる場合は話し合い解決している。</p>		